

第1学年 生活科学習指導案

授業者 1年1組 奥山 真由美

1 単元名 「さかせてみたいな はないっぱい」

2 単元について Plan

(1) 単元の目標

- アサガオに継続してかかわることで、自分の思いをもって世話をする。
- アサガオの変化や成長の様子に気付くとともに、生命の不思議さに触れ、アサガオも自分たちと同じように命をもって成長していることに気付く。

(2) 単元の評価規準

観 点	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	主体的に学習に取り組む態度
評 価 規 準	植物の変化や成長の様子に気付くとともに、植物も自分と同じように成長していくことや、自分が大切に世話をした植物が成長することの喜び、世話をすることの楽しさなどに気付いている。	植物の変化や成長に合わせて、水などの世話の仕方を考えて適切に関わったり、成長の様子やその喜びなどを振り返り、それを表現したりしている。	植物の変化や成長を楽しみにしながら、親しみをもち、進んで世話をしようとしている。

(3) 単元の設定理由

- 1年生での栽培活動として、アサガオを選ぶ理由は、次のことがあげられる。
- ・発芽しやすく育てやすい。・成長の変化が、前の観察と比較して明らかであり、種→子葉→本葉→つる→つぼみ→花→実→種の一連の成長が、約半年の間に見ることができる。
- 「みつけたよかあど」に気付きの視点を明示して、成長の様子を絵や言葉で表すことを通して、アサガオの変化に気付かせたい。アサガオの種に名前をつけて、声掛けをしながら毎日の水やりを行うことで、アサガオへの親しみをもち、大切にしようとする態度を育てたい。

3 児童の実態

元気がよく、好奇心が強い児童が多い学級である。哲学堂校外学習では、草花や生き物を見つけたときに、大きな声で表情豊かに友達に伝えたり、担任に教えたりしていた。この単元では、児童の素直な反応を大切に、それを言語化できるようにしていく。

種まきをした後、皆進んで楽しそうに水やりをしている。授業時間内だけではなく、毎日水やりをしたときに変化に気付けるように、帰りの会での発表の時間を設けていく。また、友達と声を掛け合っている行っている、そのことを認め、続けさせたい。

4 授業づくりの工夫 Do

(1) 参加しやすい学習環境づくり

【学びのユニバーサルデザイン～14の視点】 ○本単元の重点項目

参加	①リレーションづくり		
	②ルールの明確化		
	③刺激量の調整		
	④場の構造化		
	⑤時間の構造化	○	学習の流れのカードの提示
理解	⑥焦点化		
	⑦展開の構造化		
	⑧スモールステップ化	○	「みつけたよカード」
	⑨視覚化	○	「みつけたよカード」 板書の工夫
	⑩身体性の活用		
	⑪共有化	○	グループごとでの観察
習得	⑫スパイラル化		
活用	⑬適用化	○	ポートフォリオファイルの活用
	⑭機能化	○	帰りの会の「みつけたよたいむ」の設定

(2) 考えを深める学習方略

【思考スキルと思考ツールの活用】 ○本単元の活用

思考スキル	思考ツール		思考スキル	思考ツール	
多面的に見る	X、Y、Wチャート くまで手チャート PMI	○	見通す	キャンディチャート フィッシュボーン KWL	
順序立てる	ステップチャート プロット図		抽象化する	ピラミッドチャート	
焦点化する	ピラミッドチャート		具体化する	該当なし	
比較する	ベン図		応用する	該当なし	
分類する	ベン図、座標軸		推論する	キャンディチャート	
変化をとらえる	表、座標軸、 同心円チャート		広げてみる	ウェビングマップ	
関係付ける	コンセプトマップ、表		構造化する	プロット図、バタフライチャート、フィッシュボーン、ピラミッドチャート	
関連付ける	コンセプトマップ				
変換する	該当なし				
理由付ける	クラゲチャート フィッシュボーン		要約する	ステップチャート	
			評価する	KWL、座標軸	

5 単元指導計画（18時間） Plan

過程	時	○主な学習活動 ・留意点	◇評価規準【評価の観点】
①ふれる・つかむ	1	「なにを さかせようかな」 ○知っている草花の名前をあげたり、花の思い出や花を育てた経験を話したりする。 ○これからアサガオを育てていくことを知る。	◇自分が知っている草花をあげ、それらの思い出を友達に話そうとしている。 【主】
	2 ～ 4	「さあ たねを まこう」 ○土やたね、水など必要なものを用意して、たねをまく準備をする。 ○アサガオの種の観察を行い、たねまきの仕方を調べたり教わったりしながら、アサガオのたねまきを行う。	◇必要なものを考え、たねまきの準備をしようとしている。【主】 ◇アサガオの種の形や色などを「みつけたよかあど」に表している。【知技】
②ひろげる・かんがえる	5 ・ 6	「あっ！めが でた」 ○水やりや草取り、追肥など成長に合った世話の仕方を考え、継続して世話をする。 ○アサガオの成長の様子や気付いたことなどをワークシートに書く。	◇水やり、草取り、追肥などの世話を継続的に行おうとしている。【主】 ◇毎日の世話の中で、アサガオの成長の変化に気付いている。【知】
	7 8 (本時)	「もっと おおきく なあれ」 ○成長のようすを見て、次はどのように大きくなるか予想をたてる。 ○問題が発生した場合、そのことに気付く。	◇成長の様子や気付いたことをカードに記入したり、それについてみんなに話したりしている。【思判表】 ◇諸感覚を使って成長の様子を観察し、次にどのような変化が起きるのかを予想している。【思判表】
	10 ～ 12	「げんきにそだってね」 ○栽培中に植物が枯れたり、倒れたりするなど問題が起きたとき、解決の方法を考える。 ○問題の解決策を思いついたら、友達や教員と協力して実行する。	◇問題の解決策を考えたり、調べたりしながら、新しい世話の仕方を見つけようとしている。また、実行しようとしている。 【主】
	13 ～ 16	「わたしの はな さいた」 ○成長過程を振り返りながら、花を観察してワークシートに記録する ○自分たちで栽培した花（枯れ落ちた花）で染め物遊びを行う。	◇世話をしてきた花が咲いた喜びを味わうとともに、育てた花への親しみや愛情を表現している。【思判表】 ◇育てた花で染め物遊びを楽しくしている。【主】
	17	「ひとつぶからこんなに」 ○収穫した種を数えたり、幼稚園児へのプレゼントを作ったりする。	◇収穫した種を感謝の気持ちをもちながら数えたり、プレゼントをつくったりしている。【思判表】
③まとめる・いかす	18	「もっと もっと さかせたい」 ○自分の「みつけたよかあど」をまとめ、友達と伝え合う。	◇記録カードをまとめ、それらを友達と伝え合っている。【思判表】

6 本時の学習（8／18時間） Do

（1）ねらい

○自分が世話をしているアサガオの変化や成長に気付き、自分の思いや願いをもって大切に育てようとする態度を養う。

（2）展開

過程	学習活動	○指導上の留意点 ◇評価基準【評価の観点】
ふれる・つかむ	1. 前回の「みつけたよかあど」や日々の世話での気付きを振り返る。 2. 学習の流れ、めあてを確認する。 ようすを よく みてみよう。	○今までのアサガオの様子を確認し、見る視点を押さえる。
ひろげる・かんがえる	3. 生活班でまとまって、アサガオの観察を行い、「みつけたよかあど」に記録する。 ・前回と比べて変わったところ、成長したところ ・アサガオの上と下を比べて違うところ ・匂い ・手ざわり ・アサガオへの願い 4. 「みつけたよかあど」に記録したことをペアで見せ合い、発表する。	○カードに記録する視点を全員で共有する。 ○グループごとに対話をしながら活動するように声を掛ける。 ◇アサガオの変化や成長の様子に気付いている。 【知識及び技能】 ○ペアによる発表の時間を設けることで、全員が発表できるようにする。
まとめる・いかす	5. アサガオの様子を発表する。 6. 振り返りをする。 ・アサガオへの願い、これからアサガオに何をしたいかを発表する。	○気付きを全員で共有する。 ○これからのアサガオへの願い、自分とどのように関わっていくかを共有する。 ◇自分の思いや願いをもって大切に育てようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】

(3) 板書計画

さかしてみたいな はないっぱい		
【めあて】 ようすをよくみてかこう 【今日のながれ】 みつけたよかあど かく はなしあう はっぴょうする ふりかえる ぐるうぶ ぺあ ぜんたい	★児童の前時のワークシートを9まいはる	【まとめ】 目 はな 口 て こころ

(4) 課題設定の判断基準表（ループリック） Check

観点	知識及び技能	主体的に学習に取り組む態度
レベル3	前回の観察と比べて、アサガオの <u>変化や成長の様子</u> に気付いている。 「葉っぱが前より増えた。」 「前と葉っぱの形が違う（本葉）。」 「背が伸びた。」	自分の① <u>思いや願い</u> をもって② <u>大切に育てよう</u> としている。 ①「大きくなって嬉しいな。」 ①「花が早く咲くといいな」 ②「お水をたくさんあげる」 ②「おひさまにあてる。」
レベル2	アサガオの <u>様子</u> に気付いている。 「葉っぱが8枚だ。」 「ざらざらしている。」	① <u>自分の思いや願い</u> 、または② <u>大切に育てよう</u> としている態度のどちらかが見られる。
レベル1	アサガオの <u>様子</u> に気付いていない。 「虫がいる。」 ※発言がない、カードに書けない。	アサガオに対しての関心がない。 「ちょうちょがいたよ。」 「だんごむしをさがしたい。」 ※発言がない、カードに書けない。

(5) 児童の自己評価 Check

- ・ 本時の振り返りのときに、アサガオへの思いを言うとともに、自分自身の振り返りを行った。

7. 授業の改善の工夫 Action

(1) 個人への手立ての

評価の合致度	教材	場所	形態	時間	その他
教師の評価が高く 児童の評価が低い	当該児童から不十分だと思っている部分を聞き取り、その部分について教師が適切な評価を直接伝える。				
教師の評価が低い 児童の評価が高い	教師が当該児童へ、良い点を認めながら、改善すべき点に注目させ、まだ十分に伸び代がある部分を直接伝える。				
教師の評価が低い 児童の評価が低い	より具体的で 簡単な提示物 を新たに作っ て、貼る。	教師の近くに 配置する。	具体的な視点 を、より分かり やすく提示す る。	休み時間を活 用して、興 味・関心をも たせる。	褒めて、成功 体験を与え る。

(2) 授業の改善案

教師と児童の評価	教材	場所	形態	時間	その他
レベル3が多かった	○	○	○	○	
レベル2が多かった (レベル3に近づけるために)	前時との比較がしやすいような形態に変える。	○	ペアでの活動を増やす。	ペアでの伝え合う時間を増やす。	ねらいを十分に達成している状態を授業中に具体的に示す。
レベル1が多かった (レベルアップのために)	より具体的に簡単なものにする。	教師が見取りやすいように席を配置する。	一つ一つの活動をさらにスモールステップにしていく。	休み時間を活用する。	学校生活におけるアサガオの場所を近くにすする。